

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	Rosetta柴原		
○保護者評価実施期間	2026年 3月 1日 ～ 2026年 3月 29日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6 (回答者数)	4
○従業者評価実施期間	2026年 3月 1日 ～ 2026年 3月 29日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	7 (回答者数)	3
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 4月16日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもの特性理解と寄り添った専門支援	- 全保護者から高い満足度を得ており、個々の特性を把握した丁寧な個別支援を実施。 - 共感的な姿勢で保護者の相談に親身に応じ、信頼関係を構築	- 全スタッフによる個別支援研修や事例検討会を継続し、専門支援スキルを維持・向上。 - 保護者との対話を重ね、専門支援の根拠やアプローチ方法をさらに分かりやすく共有。
2	きめ細やかな保護者連絡と情報共有	- 連絡帳やLINE、送迎時の対面コミュニケーションを活用し、日々の活動や健康状態を確実に共有。 - Instagram等のSNSで日常の活動風景や成長の様子を写真付きで発信。	- 活動を妨げない撮影配慮とプライバシー保護を徹底しつつ、自然な活動状況を共有。 - 連絡ツールを活用し、急な利用依頼や個別相談にも迅速かつ柔軟に対応。
3	個別アセスメントと安心・安全な管理体制	- ニーズ分析に基づく個別支援計画の作成と、計画に沿った誠実な支援の実施。 - 服薬・アレルギー管理、ヒヤリハット共有、緊急連絡体制の周知を徹底。	- 定期的な計画の見直しとモニタリング面談を通じ、保護者との目標共有をさらに推進。 - 事故・ヒヤリハットの月次集計分析を行い、再発防止策の評価ステップを導入。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	活動スペースの限られと医療的ケア体制の不足	6名利用時に室内が狭くなり、医療機器や荷物の置き場所が制限される。 - 医療的ケア児を受け入れるための常勤看護師等の体制が不足している。	- 専用収納ラックの導入や時間帯別動線の見直しによる有効床面積の拡張。 - 常勤看護師の採用・増員計画の推進と、医ケア対応可能シフトの最適化。
2	地域交流・外出プログラムの不足と活動の固定化	- 感染症対策や室内環境中心の運用により、地域や他施設との交流機会が減少。 - 長期通所者の増加に伴い、プログラムのマンネリ化が懸念されている。	- 安全に配慮した屋外活動・散歩や季節行事、新規創作活動の定期的プログラム化。 - 近隣施設・保育所・地域資源を活用した交流イベントや社会参加機会の企画。
3	安全・避難マニュアルや訓練実施の保護者への周知不足	事業所内で各種訓練（避難・防犯・感染症）を実施しているが、保護者への情報発信や認知が十分でない。	- 防犯・防災・感染症マニュアルの要約版をお便りやWEB等で保護者に周知・配布。 - 実施した避難・救出訓練の様子や結果を写真付きで定期的に報告・可視化。

2025年度 保護者向け児童発達支援 評価アンケート 集計・改善提案

	総回答者数		平均「はい」回答率	評価項目	要改善項目数	意見記入項目数			
	4		71.6%	13	6	29			
No.	大分類・区分	評価項目	回答数	はい	いいえ	はい率	判定	主な意見・現状	改善点・アクションプラン
1	環境・体制整備	こどもの活動スペースの十分な確保	4	1	0	25.0%	要改善	「以前行われていた外出活動の再開を希望」「室内のみだとマンネリ化が懸念」「面談での活動見直しには感謝」等の声あり。	・安全に配慮した外出・散歩や園外活動の定期的プログラム化を再検討 ・限られた室内スペースを有効活用する活動動線やコーナー配置の再設計 ・面談を通じた活動内容の定期的見直しと個別要望のヒアリング徹底
2	環境・体制整備	職員配置数の適切性	4	1	0	25.0%	要改善	「普段のケア現場を直接見られないため配置状況が分かりにくい」「スタッフが落ち着いた環境で支援できる体制を望む」との声。	・日々の職員体制や手厚い配置状況を連絡ノートやお便り等で保護者に可視化 ・職員の負担軽減と落ち着いた支援環境維持のための業務効率化と適正配置 ・希望する保護者向けに日常の活動・支援体制を見学・把握できる機会の設定
3	環境・体制整備	生活空間の構造化とバリアフリー・情報伝達配慮	4	1	0	25.0%	要改善	「施設を訪問しないため配置や構造化が分からない」との声があり、室内の環境配慮や工夫が保護者に伝わりにくい現状。	・写真や動画、見取り図等を用いて室内の構造化・バリアフリー工夫を可視化発信 ・送迎時や面談時に室内環境・教材配置の工夫について直接説明・見学案内 ・利用者の成長や障害特性の変化に合わせた視覚的構造化・動線改善の継続実施
4	環境・体制整備	空間の清潔さ・快適性と活動への適合	4	2	0	50.0%	一部改善	「訪問させてもらう機会があれば見たい」との声あり。清潔感や快適性について直接確認したいニーズが伺える。	・日々の清掃・消毒・換気チェック体制の徹底と安全・快適な環境維持 ・面談や参観等の機会を通じて保護者が事業所の清潔・快適な環境を確認できる場設定 ・写真付き連絡やSNSでの室内環境・活動風景の定期的な共有
5	適切な支援の提供	こどもの特性理解と専門性のある支援	4	4	0	100.0%	良好	「今後もよろしくお願いします」等の好意的な声。特性を理解した専門支援に対して全員が「はい」と極めて高く評価。	・全スタッフによる個別支援研修や事例検討会を継続し専門的支援スキルを維持向上 ・日々のカンファレンスを通じてこどもの微細な変化や特性の把握・共有を徹底 ・保護者との対話を重ね、専門支援の根拠やアプローチ方法をわかりやすく共有
6	適切な支援の提供	公表支援プログラムと支援内容の整合性	4	2	0	50.0%	一部改善	「写真を送ってもらえて把握できている」との声がある一方、「わからない」「どちらともいえない」とする回答も存在。	・事業所公表の支援プログラムの要点や実施概要を保護者へ定期的に再周知・配布 ・提供している日々の活動が支援プログラムのどの領域に該当するかを連絡帳等で明示 ・プログラム内容と子どもの成長記録を連動させたフィードバック体制の強化

2025年度 保護者向け児童発達支援 評価アンケート 集計・改善提案

	総回答者数		平均「はい」回答率	評価項目	要改善項目数	意見記入項目数			
	4		71.6%	13	6	29			
No.	大分類・区分	評価項目	回答数	はい	いいえ	はい率	判定	主な意見・現状	改善点・アクションプラン
7	適切な支援の提供	ニーズ・課題分析に基づく個別支援計画の作成	4	4	0	100.0%	良好	「今後も面談はよろしく願います」など、面談を通じたニーズ分析・計画作成に全回答者が満足・信頼を表明。	・アセスメントに基づく綿密なニーズ把握と定期的な計画更新プロセスの継続 ・面談時間を十分に確保し、家庭での様子や保護者の将来的な願いを丁寧に反映 ・計画内容の進捗状況を定期的（半年ごと等）に振り返り、次の目標へ確実に反映
8	適切な支援の提供	ガイドラインに沿った具体的支援項目の設定	4	3	0	75.0%	一部改善	「面談してもらい方向性の共有をよろしく願います」との意見。概ね好評だが一部で「わからない」の回答あり。	・本人支援・家族支援・移行支援の各区分と具体的支援内容の関連性を分かりやすく明記 ・モニタリング面談時に各項目がどう達成されているかを具体例を交えて説明 ・ライフステージの移行を見据えた長期的な目標設定の共有強化
9	適切な支援の提供	個別支援計画に沿った支援の実施	4	4	0	100.0%	良好	「意に沿わないときは面談してもらい話を聞いてもらえた」と柔軟で誠実な対応が高く評価され、100%満足。	・個別支援計画に基づく日々の実践・アプローチの徹底と記録管理の継続 ・要望や違和感が生じた際の迅速な面談・ヒアリング体制を維持 ・支援計画と日々の支援内容の乖離がないか定期的なチーム内レビューを実施
10	適切な支援の提供	活動プログラムの柔軟性・多様性の確保（固定化防止）	4	3	0	75.0%	一部改善	「生活介護・成人向けプログラムやお出かけ活動の充実を希望」「長期利用による活動のマンネリ化を防いでほしい」との要望。	・季節行事や外出活動、新規創作活動を企画し活動バリエーションを拡充 ・利用者の年齢や成長段階、個別嗜好に応じたプログラムの柔軟なカスタマイズ ・定期的なプログラム見直し会議を設置し、マンネリ化防止と新規企画の導入を促進
11	関係機関連携・地域交流	地域や他施設・他のこどもとの交流機会の確保	4	1	1	25.0%	要改善	「成人なのでそういう機会はなくなっている」「わからない」との回答があり、地域や他児との交流機会が不足。	・地域のボランティア、近隣施設、他事業所との交流行事や合同イベントの企画検討 ・地域資源（図書館、公園、地域の祭り等）を活用した社会参加機会の拡充 ・交流活動の計画や実施状況について通信等で保護者に分かりやすく情報発信
12	説明責任・情報提供	利用開始時の運営規程・支援内容・利用料等の丁寧な説明	4	3	0	75.0%	一部改善	「LINEで連絡を取り合えるところが助かる」と好評な一方、一部で「どちらともいえない」の回答。	・契約更新時や年度初めに運営規程・利用者負担等の重要事項を改めて丁寧に説明 ・LINE等の連絡手段を活用したスムーズな情報提供と疑問解消窓口の案内徹底 ・利用案内リーフレットの図解化・要約版を作成し、いつでも確認できる環境を整備

2025年度 保護者向け児童発達支援 評価アンケート 集計・改善提案

	総回答者数		平均「はい」回答率	評価項目数	要改善項目数	意見記入項目数			
	4		71.6%	13	6	29			
No.	大分類・区分	評価項目	回答数	はい	いいえ	はい率	判定	主な意見・現状	改善点・アクションプラン
13	説明責任・情報提供	個別支援計画を示しながらの支援内容説明	4	3	0	75.0%	一部改善	「今後も教えてください」との声。概ね理解されているが一部で認識のばらつきあり。	・個別支援計画書を提示しながら、支援目標や具体的手順を平易な言葉で説明 ・保護者の同意・署名を得る際、疑問点や要望をじっくりヒアリングする対話時間を確保 ・面談後の計画書控え配布と、いつでも見返せる共有体制の整備
14	家族支援・保護者連携	家族支援プログラム・研修会・情報提供機会の実施	4	1	1	25.0%	要改善	「案内はいつもしていただいている」との声がある一方、「いいえ」「わからない」が多く、参加・認知が低調。	・家族支援プログラムや保護者向け勉強会・情報交換会の開催頻度向上と参加促進 ・平日夜や土日、オンライン開催等、参加しやすい日程・形式での研修会企画 ・研修・勉強会の案内チラシの目立つ配布やLINEでの事前案内・リマインド徹底
15	家族支援・保護者連携	日常的な状況共有と健康・発達の共通理解	4	4	0	100.0%	良好	「送迎時にデイでの様子を伝えてくれる」「連絡ノートやLINEでしっかり共有してくれる」と全回答者から絶大な高評価。	・送迎時の対面コミュニケーションと連絡帳・LINEでのきめ細やかな情報共有の継続 ・日常の小さな成長エピソードや具体的な様子の記録・伝達の推進 ・職員間での情報引継ぎ体制を強固にし、誰でも的確に状況を報告できる体制の維持
16	家族支援・保護者連携	定期的な面談および子育て助言・支援の実施	4	3	0	75.0%	一部改善	「今後もその機会は大切にしたい」と期待される一方、一部で面談頻度や助言機会に「どちらともいえない」の回答。	・定期面談（年2回以上等）の確実な日程調整と、希望に応じた随時面談の受付体制の明示 ・面談時に子育ての悩みや将来の進路・生活に関する具体的な助言・情報提供を実施 ・面談シートの事前共有により、保護者が相談したい事項を整理しやすい環境を整備
17	家族支援・保護者連携	職員による共感的な姿勢での支援・傾聴	4	4	0	100.0%	良好	「なにかあればすぐ相談に乗ってもらえている」と職員の傾聴姿勢・親身な対応に全保護者が全幅の信頼を寄せる。	・保護者の心情や家庭環境に深く寄り添う共感的・受容的な対話姿勢の継続維持 ・スタッフ研修でコミュニケーションスキルや傾聴マインドの研鑽を定期実施 ・日常の些細な不安も気軽に相談できる温かい関係性・雰囲気づくりを推進
18	家族支援・保護者連携	保護者同士の交流の場ときょうだい支援の機会提供	4	0	2	0.0%	要改善	「特にきょうだい支援は求めている」「成人なので必要なくなった」等、ニーズが低いか実施機会がなく「はい」が0件。	・全家庭に対するきょうだい支援・保護者交流ニーズの再調査（アンケート等）の実施 ・自由参加型の茶話会やオンライン座談会など負担感のない交流機会の試験的導入 ・成人生徒家庭ときょうだい児がいる家庭でニーズを切り分け、希望者に応じた個別支援を実施

2025年度 保護者向け児童発達支援 評価アンケート 集計・改善提案

2025年度 保護者向け児童発達支援 評価アンケート 集計・改善提案									
	総回答者数		平均「はい」回答率		評価項目	要改善項目数	意見記入項目数		
	4		71.6%		13	6	29		
No.	大分類・区分	評価項目	回答数	はい	いいえ	はい率	判定	主な意見・現状	改善点・アクションプラン
19	相談・苦情対応体制	相談・申出体制の周知と迅速かつ適切な対応	4	4	0	100.0%	良好	「急な利用依頼にも応えてくれる」「いつも対応してもらっている」と高い信頼と満足度（100%）。	・迅速かつ柔軟な相談・緊急対応体制の維持とスタッフ間の迅速な情報共有 ・苦情解決責任者や外部相談窓口の案内を事業所内およびお便りで定期的に再掲 ・些細な要望や相談も記録・蓄積し、サービス改善へ継続的にフィードバック
20	コミュニケーション配慮	意思疎通・情報伝達における個別の配慮	4	4	0	100.0%	良好	「いつもコミュニケーションをとってもらっている」と全回答者が肯定評価（100%）。	・LINE、連絡帳、対面会話など保護者の希望に応じた連絡手段の継続運用 ・視覚的配慮や分かりやすい表現を用いた伝達方法の工夫を継続 ・多忙な保護者にも負担の少ない連絡頻度・タイミングの調整
21	情報発信・公開	広報・SNS・HP等を通じた定期的な情報・活動発信	4	4	0	100.0%	良好	「インスタがよく更新されている」「写真が届く」と好評な一方、「撮影に集中して活動が中断されないよう配慮を」との貴重な指摘。	・公式SNSや写真付き通信での活動報告を継続し、事業所の透明性と安心感を確保 ・写真撮影は自然な活動を妨げないよう配慮し、子どもの安全と活動への専念を最優先化 ・写真掲載に関する個人情報同意の確認とプライバシー保護の徹底
22	法令遵守・管理	個人情報の厳重な取扱とプライバシー保護	4	4	0	100.0%	良好	特段の懸念点なし。個人情報管理に関して全員が信頼し「はい」と回答（100%）。	・個人情報管理規程の遵守と各種書類・電子端末のセキュリティ管理徹底 ・写真や動画のSNS掲載・取り扱いに関する定期的なスタッフ研修の実施 ・連絡網や利用者情報の外部漏洩防止チェックの継続
23	安全管理・危機管理	各種マニュアル（事故/防犯/感染症）の策定・周知と訓練	4	2	0	50.0%	一部改善	「わからない」「わかりません」との回答が半数。マニュアルの存在や訓練実施の保護者への周知が不足。	・策定している事故・防犯・感染症マニュアルの概要をお便りやWEB等で保護者に配布・周知 ・事業所内で実施した各種訓練（防犯、感染症対策等）の様子を写真付きで報告 ・非常時の対応フローや連絡手順を保護者向けハンドブックとして可視化
24	安全管理・危機管理	非常災害に備えた定期的避難・救出訓練の実施	4	2	0	50.0%	一部改善	「わかりません」との声があり、定期的な避難訓練の実施状況が保護者に十分認知されていない。	・定期的に実施している避難・救出訓練の実施報告（日時・内容・様子）を通信やSNSで共有 ・保護者引き渡し訓練や合同防災訓練の企画・実施を検討 ・災害時の避難場所・連絡手段・安否確認方法を保護者に改めて書面で周知
25	安全管理・危機管理	安全確保計画の周知と安全な支援環境の確保	4	3	0	75.0%	一部改善	「そう思ってます」と肯定的な声がある一方、一部で「わからない」の回答。	・事業所の安全計画およびヒヤリハット対策の取り組みを定期的に保護者へ報告 ・送迎時の安全運転マニュアル・車両点検体制の徹底と安全管理の可視化 ・施設内外の安全点検チェックリストの運用と定期的な施設点検結果の公開

2025年度 保護者向け児童発達支援 評価アンケート 集計・改善提案

	総回答者数		平均「はい」回答率	評価項目数	要改善項目数	意見記入項目数			
	4		71.6%	13	6	29			
No.	大分類・区分	評価項目	回答数	はい	いいえ	はい率	判定	主な意見・現状	改善点・アクションプラン
26	安全管理・危機管理	事故・怪我等発生時の速やかな連絡と状況説明	4	4	0	100.0%	良好	事故や怪我等の発生時における迅速な連絡と説明体制について、全員が「はい」と回答（100%）。	・怪我・事故・ヒヤリハット発生時の即時連絡基準と状況説明フローの確実な運用 ・再発防止策の策定と保護者への丁寧な経過報告の徹底 ・スタッフ間の緊急連絡体制の維持と救命救急講習等の定期受講
27	通所状況・満足度	こどもの安心感をもった通所状況	4	4	0	100.0%	良好	「毎月の制作を楽しみにしている」など、こどもが安心感を持って通所できていることに全員が同意（100%）。	・一人ひとりのペースに合わせた安心できる居場所づくりと受容的な関わりの継続 ・季節ごとの制作活動や成功体験を積める創作プログラムの継続提供 ・利用者の情緒や体調変化にいち早く気付ける見守り体制の維持
28	通所状況・満足度	こどもの通所に対する楽しみ・意欲	4	4	0	100.0%	良好	「活動もりハビリもスタッフも全部が大好き」「卒業がないのでマンネリ化した活動は避けてほしい」との声。	・スタッフへの信頼とリハビリ・活動への意欲を尊重し魅力的なプログラムを展開 ・長期通所者に向けて、成長や年齢に応じた飽きのこない新規プログラム・体験の導入 ・利用者の「好き」「得意」を伸ばす個別アクティビティのさらなる充実
29	総合満足度	事業所の支援全体に対する総合的な満足度	4	4	0	100.0%	良好	「いつも寄り添ってくれる」「今後もよろしくお願いします」と、支援全体に対し100%の極めて高い満足度。	・寄り添う姿勢と高い支援クオリティを誇るスタッフチームの士気維持と育成 ・アンケートで挙げた要改善項目（外出機会、マニュアル周知等）に着実に取り組み更なる向上 ・次年度に向けて評価結果と改善アクションプランを保護者へ開示し信頼関係を一層強固に

2025年度 従業者向け 児童発達支援集計・改善提案シート									
対象事業所: Rosetta柴原 回答者数: 3名 評価項目: 全60項目 集計元: フォームの回答 1									
		総回答者数	平均「はい」回答率	高評価項目数 (はい100%)		要改善項目数 (はい<50%)		意見記入項目数	
		3名	64.4%	23項目		21項目		11項目	
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
1	環境・体制整備	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	「6名利用になると、場所が狭く、荷物や医療機器などの置き場所が限られる」「物の配置や動線を考えてスペース作りしている」	・医療機器や荷物の定位置管理と専用収納ラック導入による有効床面積の拡張 ・利用人数やケア内容に応じた時間帯別動線の見直しと柔軟なレイアウト運用 ・フロア整理整頓ルールの明文化と毎日の環境整備点検の徹底
2	環境・体制整備	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	「スタッフ数がいても医ケアできるスタッフがいない」「常勤看護師を増やすべきだと思う」	・医療的ケア児受入体制強化に向けた常勤看護師の採用・増員計画の推進 ・全スタッフを対象とした医療的ケア基礎知識およびサポート実務研修の実施 ・医ケア対応可能時間帯・配置シフトの最適化および緊急時対応手順の標準化
3	環境・体制整備	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また設備のバリアフリー化や情報伝達等の配慮がなされているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・ピクトグラムや写真カード、色分けを活用した生活空間の構造化の推進 ・動線上の段差や障害物の定期点検と車椅子・歩行器に配慮した環境改善 ・視覚・聴覚刺激を和らげる配慮（防音マット・カムダウンエリア）の導入
4	環境・体制整備	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また活動に合わせた空間となっているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	「一人のスペースが限られることがあるため、心地よくは難しい時がある」	・仕切りやパーティションを活用した個別パーソナルスペースの確保 ・活動内容に応じた静的ゾーンと動的ゾーンの明確なゾーニング分け ・清掃・消毒・換気チェックリストの確実な運用による清潔で快適な環境維持
5	環境・体制整備	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	「パーティションでの隔離が脱衣所になるが、脱衣所のカーテンはしっかり閉まらない」	・脱衣所カーテンの改修・密閉性確保によるプライバシー保護の徹底 ・可動式パーティション等の整備による安心できる個別・クールダウン空間の確保 ・個別スペース利用時の見守り手順・安全確認ルールの職員間での共通化
6	業務改善・PDCA・研修	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	-	・月次ミーティングを活用した個別支援目標と業務改善の定期振り返りの定例化 ・全職員が参画しやすい簡易な目標管理・業務改善提案フォーマットの導入 ・改善課題の進捗状況を可視化する事業所内ダッシュボードの共有
7	業務改善・PDCA・研修	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・保護者評価アンケート結果の速やかな職員全体共有と課題の優先順位付け ・保護者の意向や要望を反映した具体的アクションプランの策定 ・改善結果や取組状況の保護者だより等を通じた定期的なフィードバック
8	業務改善・PDCA・研修	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	「ミーティングで意見を述べることはできている」	・ミーティングで出た意見・課題の進捗管理表を作成し未対応事項を防止 ・口頭以外でも気軽に提案できる目安箱や匿名アンケート等の複数の意見収集 ・職員発の業務改善アイデアの好事例共有とモチベーション向上施策の実施
9	業務改善・PDCA・研修	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・福祉サービス第三者評価の受審計画の検討と実施スケジュールの具体化 ・客観的な外部評価結果を踏まえた事業所運営の強み・課題の洗い出し ・外部視点を取り入れた改善目標の中長期事業計画への反映
10	業務改善・PDCA・研修	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	「施設内研修のスケジュールはあるが、準備や開催日が確保できない」	・業務時間内に無理なく参加できる15分ミニ研修（マイクロラーニング）の導入 ・eラーニング教材や外部録画動画の活用による柔軟な自己研鑽機会の確保 ・研修担当者の負担を分散する持ち回り制の導入と資料の共有ライブラリ化
11	業務改善・PDCA・研修	適切に支援プログラムが作成、公表されているか（事業所の取組等の見える化・公表）	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・支援プログラム最新版のホームページおよび事業所内掲示板への常時公表 ・契約時・更新時における保護者への支援プログラムの丁寧な書面説明の徹底 ・国のガイドライン改定や法改正に応じたプログラム内容の定期的な見直し
12	適切な支援の提供	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、ニーズや課題を客観的に分析した上で計画を作成しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・標準化アセスメントシートの活用による客観的なニーズ・課題分析の徹底 ・保護者への聞き取り項目の見直しと真のニーズを引き出すヒアリングの実施 ・アセスメント結果と個別支援計画の目標設定の整合性点検の仕組み化
13	適切な支援の提供	計画作成時に児発管だけでなく支援に関わる職員が共通理解の下で最善の利益を考慮した検討が行われているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・児発管だけでなく直接支援に関わる全スタッフ参加のケース会議の定期開催 ・「こどもの最善の利益」の観点を評価するチェックリストの導入 ・パート職員や専門職の意見も吸い上げる事前ヒアリングシートの活用

2025年度 従業者向け 児童発達支援集計・改善提案シート									
対象事業所: Rosetta紫原 回答者数: 3名 評価項目: 全60項目 集計元: フォームの回答 1									
		総回答者数	平均「はい」回答率	高評価項目数 (はい100%)		要改善項目数 (はい<50%)		意見記入項目数	
		3名	64.4%	23項目		21項目		11項目	
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
14	適切な支援の提供	計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	「できてる人とできていない人がいてる」	・朝礼や申し送りでの個別支援ポイント・目標の重点確認の定例化 ・計画内容の要約シート（支援の要点カード）の作成と常時携帯・確認の徹底 ・支援実践度に関するセルフチェックと定期的な振り返り面談の実施
15	適切な支援の提供	標準化されたツールのフォーマルアセスメントや日々の観察等のインフォーマルアセスメント等で状況を確認しているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・標準化ツールを用いたフォーマルアセスメントの計画的実施とスキル習得 ・日々の行動観察によるインフォーマルアセスメント記録のフォーマット統一 ・フォーマルとインフォーマルの両面から総合的に評価する分析プロセスの確立
16	適切な支援の提供	ガイドラインの4領域（本人・家族・移行・地域連携）のねらいを踏まえ、具体的支援内容が設定されているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・計画書様式にガイドライン4領域（本人・家族・移行・地域連携）を明確に区分 ・4領域それぞれのねらいに対応する具体的な支援内容と目標水準の設定 ・定期モニタリングにおける各領域の達成度評価のバランス確認の徹底
17	適切な支援の提供	活動プログラムの立案をチームで行っているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・月次プログラム企画ミーティングの定例化と全職員からの企画アイデア募集 ・ペア制・チーム制による多角的な視点を取り入れた活動プログラムの立案 ・立案プログラムの難易度や安全性を事前に検証するレビュー体制の構築
18	適切な支援の提供	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・季節行事・感覚統合・創作などテーマを多様化させたプログラムライブの整備 ・子どもの興味や発達段階に応じた難易度調整・バリエーションの確保 ・固定化を防ぐための過去プログラム実績の棚卸しと新規活動の定期導入
19	適切な支援の提供	子どもの状況に応じて個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、計画を作成し支援が行われているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・日課スケジュールにおける個別課題時間と集団活動時間のメリハリの設定 ・集団活動への参加が難しい場合の個別スモールステップ支援の設計 ・個別活動で培ったスキルを集団の場で発揮できる連携プログラムの導入
20	適切な支援の提供	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、支援内容や役割分担を確認しチームで連携しているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・支援開始前の10分ショートミーティングの必須化と進行チェック表の運用 ・当日のこどもの心身状態や役割分担（主担当・サブ・見守り）のホワイトボード可視化 ・時差出勤職員への引継ぎ事項の連絡ノート・チャット等による確実な伝達
21	適切な支援の提供	支援終了後には職員間で必ず打合せを行い、振り返りや気付いた点等を共有しているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・支援終了後の15分ミニ終礼の定例化と気付き・成果・課題の迅速な共有 ・日中の活動で生じたヒヤリや変化を即座に記録・報告するメモツールの活用 ・翌日の担当者への申し送り事項の明確化と重要事項の記録システムへの反映
22	適切な支援の提供	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・業務支援ソフトの活用による記録入力効率化と即日記録完了の徹底 ・観察記録の客観性と具体性を高めるための記録マニュアル・文例集の整備 ・週次・月次での記録分析を通じた支援内容の検証とPDCAへの反映
23	適切な支援の提供	定期的にモニタリングを行い、計画の見直しの必要性を判断し適切な見直しを行っているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・モニタリング期日（半年毎等）のリマインダー管理と実施漏れゼロの維持 ・こどもの状況変化や環境移行に応じた随時モニタリングの柔軟な実施 ・モニタリング結果の保護者への丁寧な報告と計画見直しの合意形成の徹底
24	適切な支援の提供	【放デイのみ】放課後等ディサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ、支援を行っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・月間計画表における4つの基本活動（本人・家族・移行・地域）の明示 ・日々の支援記録に該当カテゴリをタグ付けし実施バランスを可視化 ・手簿になりがちな「移行支援」「地域支援」に焦点を当てた特別プログラムの企画
25	適切な支援の提供	【放デイのみ】こどもが自己選択できるような工夫がされている等、自己決定をする力を育てる支援を行っているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・遊びやおやつ、活動手順などを自分で選べる「選択カード・ボード」の活用 ・「自分で決めて達成する」成功体験を促す意図的な場面設計の強化 ・こどもの選択を尊重し待つ姿勢の職員間での共通理解と声かけマニュアル化
26	関係機関連携・インクルージョン	サービス担当者会議や関係機関との会議に、こどもの状況をよく理解した者が参画しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・児童の担当者または児発管によるサービス担当者会議への出席率100%維持 ・事業所での様子や支援実績をまとめた事前情報提供シートの標準化 ・会議での決定事項および他事業所の支援方針の速やかな事業所内共有
27	関係機関連携・インクルージョン	地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・主治医・訪問看護・相談支援事業所・学校等との連絡網の定期更新 ・医療的ケア児等の緊急時対応フローの関係機関との事前すり合わせ ・多機関合同ケース会議への積極的な参画と情報連携の強化

2025年度 従業者向け 児童発達支援集計・改善提案シート									
対象事業所: Rosetta紫原 回答者数: 3名 評価項目: 全60項目 集計元: フォームの回答 1									
		総回答者数	平均「はい」回答率	高評価項目数 (はい100%)		要改善項目数 (はい<50%)		意見記入項目数	
		3名	64.4%	23項目		21項目		11項目	
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
28	関係機関連携・インクルージョン	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じて助言や助成を受ける機会を設けているか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	-	・地域児童発達支援センターの相談窓口・専門支援機能の把握と定例相談の確保 ・支援が困難な事例に対する専門的助言（スーパーバイズ）の積極的受入れ ・受けた助言を事業所内のケース会議で共有し日々の支援へ落とし込む体制整備
29	関係機関連携・インクルージョン	保育所・学校・児童館等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	-	・近隣の保育所・幼稚園・児童館等との交流イベントや合同活動の企画 ・公園や公共施設利用を通じた地域社会での体験機会の計画的な設定 ・地域ボランティアや実習生の受入れ体制づくりによる外部交流の活性化
30	関係機関連携・保護者連携	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、発達の状況や課題について共通理解を持っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・連絡帳や連絡アプリを通じた日々の具体的エピソードや小さな成長の共有徹底 ・送迎時の短い時間でも双方向の対話を生み出す丁寧な声かけの励行 ・体調変化や課題が見られた際の早期電話相談やミニ面談の迅速な実施
31	家族支援・研修機会	家族の対応力向上のため、ペアレント・トレーニング等の支援プログラムや研修等の機会・情報提供を行っているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・保護者向けペアレント・トレーニング等の講座や勉強会の定期開催検討 ・家庭での関わり方に役立つ療育通信や動画・ハンドブックの情報提供 ・外部機関が主催する家族支援セミナーや研修情報の積極的な案内・共有
32	インクルージョン・移行支援	【児発のみ】併行利用や移行に向けた支援等、インクルージョン推進の観点から関係機関と情報共有・相互理解を図っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・保育所・幼稚園等との保育所等訪問支援や定期的な支援情報交換の推進 ・園での生活リズムや集団生活の課題を把握するための連絡シートの運用 ・併行通園先との支援方針のすり合わせと相互理解を深める定期カンファレンス
33	インクルージョン・移行支援	【児発のみ】就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校との間で支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・小学校・特別支援学校への「就学支援シート」等の確実な引継ぎと共有 ・保護者の就学に対する不安を解消する就学相談会や見学会同行等のサポート ・就学後の初期適応状況のフォローアップと放デイ等への円滑な連携体制構築
34	関係機関連携・インクルージョン	【児発センターのみ】地域の他のセンターや事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	-	・地域内の他の通所事業所やセンターとの情報交換会・連絡会への参加 ・地域全体の療育支援の質向上を目的とした事例検討会への参画 ・事業所の得意分野や支援ノウハウの地域への共有と相互研鑽の推進
35	業務改善・PDCA・研修	【児発センターのみ】質の向上を図るため、専門家等から助言を受けたり職員を外部研修に参加させているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・外部の専門職（ST・OT・PT等）による巡回指導・専門助言の定期導入 ・都道府県や自治体が主催する専門研修への計画的な職員派遣 ・外部研修受講後の伝達講習会の開催による事業所全体への知識還元
36	関係機関連携・インクルージョン	【児発センターのみ】(自立支援)協議会・こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・地域自立支援協議会・こども部会等の年間スケジュール把握と担当者の参画 ・協議会で共有される地域課題や施策方針の職員会議での定期報告 ・地域の子育て支援ネットワーク構築に向けた専門部会への協力
37	関係機関連携・学校連携	【放デイのみ】学校との情報共有（計画・予定・下校時刻等）、連絡調整（送迎対応・トラブル時）を適切に行っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・各学校の年間行事予定や下校時刻変更の事前回収と運行管理の連動 ・送迎時における学校担任との直接対面による情報共有と連絡メモの徹底 ・学校での体調不良やトラブル発生時の緊急連絡体制・対応手順の整備
38	関係機関連携・移行支援	【放デイのみ】就学前に利用していた保育所・幼稚園・児発事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・新規利用児の就学前利用機関（保育園・児発等）からの支援情報引き継ぎの徹底 ・過去の支援記録や配慮事項を分析した初期支援計画への確実な反映 ・就学前機関の担当者とのケースバイケースの情報交換窓口の確保
39	関係機関連携・移行支援	【放デイのみ】卒業後に障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・卒業後の進路先（就労支援・生活介護等）を見据えた個別移行支援計画の策定 ・移行先事業所への詳細な申し送り書の作成と丁寧な引継ぎ面談の実施 ・卒業後の生活定着を確認するアフターフォロー体制と相談窓口の確保
40	関係機関連携・インクルージョン	【放デイのみ】(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・自立支援協議会等の定例会議への計画的な参加と情報収集の継続 ・相談支援専門員や他分野の関係者との顔の見える連携関係の強化 ・協議会で得られた地域資源や好事例の事業所運営への積極的導入
41	保護者対応・情報公開	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・重要事項説明書・運営規程のわかりやすいスライドや要約版の作成・活用 ・利用料や実費徴収に関する事前案内と改定時の丁寧な個別説明の徹底 ・契約・更新時における重要事項確認チェックリストの運用による説明漏れ防止

2025年度 従業者向け 児童発達支援集計・改善提案シート									
対象事業所: Rosetta紫原 回答者数: 3名 評価項目: 全60項目 集計元: フォームの回答 1									
		総回答者数	平均「はい」回答率	高評価項目数 (はい100%)		要改善項目数 (はい<50%)		意見記入項目数	
		3名	64.4%	23項目		21項目		11項目	
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
42	適切な支援・保護者意向	計画作成時にはこどもや保護者の意思の尊重、最善の利益優先考慮を踏まえ、意向を確認する機会を設けているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・個別面談時におけるこども本人の希望や意思を引き出すツール（イラスト等）の活用 ・保護者の想いとこどもの最善の利益を調和させる傾聴・相談体制の充実 ・把握した意向を個別支援計画書のアセスメント欄へ明確に文章化する徹底
43	適切な支援・計画同意	計画を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・支援計画書の手交・説明面談の計画的日程設定と同意書の確実な受領 ・専門用語を平易な表現に置き換えた分かりやすい目標説明の工夫 ・同意取得状況のトラッカーによる進捗管理と未回収防止の徹底
44	保護者対応・相談支援	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・年2回以上の定期個別面談の年間スケジュール化と事前予約制の確立 ・日頃の悩みも気軽に相談できる窓口の保護者への常時周知 ・面談記録の確実な作成と相談内容を反映した支援プランの修正・実行
45	保護者支援・交流機会	父母の会支援や保護者会等の開催により、保護者同士やきょうだい同士が交流する機会を設ける等の支援をしているか	3件	0件	3件	0.0%	要改善	-	・保護者同士が悩みや工夫を共有できる座談会・ペアレントサロンの定期開催 ・きょうだい児も一緒に参加して楽しめる季節行事やファミリーデーの企画 ・平日・休日やオンライン（Zoom）等、参加しやすい開催形態の工夫
46	苦情・相談対応体制	相談や苦情、申入れについて対応体制を整備・周知し、迅速かつ適切に対応しているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・苦情受付担当者・責任者・第三者委員の連絡先一覧の事業所内掲示とパンフ明記 ・苦情や要望を受けた際の初動対応マニュアルの職員全体研修の実施 ・苦情対応記録簿の作成と原因分析・再発防止策の職員共有の仕組み化
47	広報・情報発信	定期的に通信を発行することやHP・SNS等を活用し、活動概要や行事予定等の情報を発信しているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	「SNSが更新できていない」	・月1回の事業所だより（活動報告・行事予定）の定期発行スケジュールの確立 ・SNS更新担当チームの編成と月間投稿カレンダー（活動風景等の発信）の運用 ・個人情報保護・写真掲載許諾を徹底した安全で魅力的な情報発信の推進
48	コンプライアンス・情報管理	個人情報の取扱いに十分留意しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・個人情報管理規程の年次周知と全職員からの秘密保持誓約書の更新 ・児童記録・指導記録の施錠保管および端末アクセス権限・パスワード管理の徹底 ・送迎車内や外出先での書類・タブレット等の紛失防止手順の再確認
49	配慮・情報伝達	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・絵カード、写真、スケジュール表など視覚的支援ツールの全室常備 ・外国籍や障がい特性等に応じたルビ付き資料・分かりやすい表現での案内作成 ・こどもの非言語的サイン（視線・身振り）を読み取る支援スキルの職員間共有
50	地域連携・開放	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	「てのひら展の開催をしているので、地域の方へ広げていけたらと思う」	・「てのひら展」の地域住民や近隣学校・関係機関への案内強化とPR推進 ・事業所見学ワークや作品展など地域住民が参加しやすいオープン行事の企画 ・地域広報紙や公共スペースへのポスター掲示等による地域交流の活性化
51	保護者対応・相談支援	【放デイのみ】家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・学齢期特有の課題（学習面・友人関係・思春期）に対応する専門相談体制の整備 ・家庭での生活リズムや自立支援に関する具体的助言シートの提供 ・保護者の将来への不安を軽減する進路・就労等に関する個別相談機会の充実
52	非常時対応・安全管理	各種マニュアル（事故防止・緊急時・防犯・感染症）を策定・周知し、発生を想定した訓練を実施しているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	「家族へ周知できていない」	・各種マニュアル要約版の保護者向け配布および事業所内閲覧コーナーの設置 ・不審者対応・事故防止・感染症予防に関する職員訓練の年2回以上の定例実施 ・訓練実施の様子や安全対策の取組状況の保護者通信等での定期的な報告
53	非常時対応・安全管理	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害に備え定期的に避難・救出等の訓練を行っているか	3件	2件	1件	66.7%	一部改善	-	・自然災害および感染症まん延時を想定したBCP（業務継続計画）の最新化 ・児童参加型の避難訓練・引渡し訓練の年2回以上の確実な実施 ・非常用備蓄品（保存食・水・医療機器予備バッテリー等）の定期点検と補充運用
54	健康管理・医療的ケア	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・健康状況・服薬内容・アレルギー・既往歴の受入時における最新情報の確認 ・てんかん発作等への緊急対応手順書（個別プロトコル）の作成と全員把握 ・日々のバイタルチェック・健康観察の徹底と異常時の迅速な主治医・家族連携

2025年度 従業者向け 児童発達支援集計・改善提案シート									
対象事業所: Rosetta柴原 回答者数: 3名 評価項目: 全60項目 集計元: フォームの回答 1									
		総回答者数	平均「はい」回答率	高評価項目数 (はい100%)		要改善項目数 (はい<50%)		意見記入項目数	
		3名	64.4%	23項目		21項目		11項目	
No.	大分類・区分	評価項目（設問内容）	回答数	はい (件)	いいえ (件)	はい率	判定	スタッフからの主な意見・現状	改善点・アクションプラン（2～3点）
55	健康管理・アレルギー対応	食物アレルギーのあることについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・医師の診断書・生活管理指導表に基づく食物アレルギー対応の徹底 ・誤食防止のための個別色分けトレイ・専用調理器具の導入と配膳二重チェック ・エビベン使用訓練およびアナフィラキシー初動対応手順の定期シミュレーション
56	非常時対応・安全管理	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修・訓練その他必要な措置を講じる等、十分な安全管理のもと支援しているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・事業所安全計画の年次策定・見直しサイクルの確立と職員全員への浸透 ・送迎車両の安全点検・乗降時安全確認・置き去り防止装置の動作確認の徹底 ・室内遊具や施設設備の安全点検チェックリストの運用と破損個所の即時補修
57	非常時対応・安全管理	こどもの安全確保に関して家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について家族等へ周知しているか	3件	1件	2件	33.3%	要改善	-	・安全計画の概要および事故防止・災害対策の取組の保護者への書面周知 ・緊急時連絡フローや安否確認ツールの利用方法の保護者への事前案内徹底 ・安全面に関する保護者アンケート項目の新設とフィードバックの反映
58	ヒヤリハット・再発防止	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	「その日の会で対策を話し合っている」	・当日の即時対策に加え、月次でのヒヤリハット集計と発生傾向の分析の定例化 ・軽微なヒヤリハットも安心して報告できる職場風土（非難しない文化）の徹底 ・策定した再発防止策が有効に機能しているかを追跡確認する評価ステップの導入
59	人権擁護・虐待防止	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・障害者虐待防止マニュアルの整備と年1回以上の全職員対象研修の必須化 ・不適切な関わり（アンチパターン）の事例検討と職員間相互チェックの定例化 ・相談窓口の周知と職員のメンタルヘルスケアによる職場ストレスの低減
60	人権擁護・身体拘束適正化	やむを得ず身体拘束を行う場合について組織的に決定し、事前説明・了解の上、計画に記載しているか	3件	3件	0件	100.0%	良好	-	・身体拘束適正化指針の策定と身体拘束適正化検討委員会の定期開催 ・やむを得ず行う場合の3要件（切迫性・非代替性・一時性）の組織的判断・記録の徹底 ・保護者への事前説明・書面同意の確実な取得と身体拘束を行わない代替ケアの追求